

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

## 【司会の役割や話し手の意図を捉える問題】レベル6・7

代表委員会では、一年生を迎える会のプログラムについて、話し合いをしています。次の【プログラムの案】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

### 【プログラムの案】

- 1 はじめのことは  
校歌
- 2 ペンダントのプレゼント
- 3 ゲーム（じゃんけん列車）
- 4 児童代表のことば
- 5 歌（一年生になったら）
- 6 校長先生のお話
- 7 おわりのことば
- 8

### 【話し合いの一部】

大木 ペンダントのプレゼントよりも前に、全校でゲームをしたほうがよいと思います。

上田（司会） 大木さんは、なぜ、そう思うのですか。

大木 ゲームをすれば、楽しい雰囲気になると思うからです。

上田（司会） A

竹下 ぼくは、一年生には、まずきんちようをとってほしいので、ゲームより先に、ペンダントのプレゼントがあったほうがよいと思います。

上田（司会） B

大木 竹下さんの意見を聞いて、ぼくもペンダントのプレゼントがあつてから、ゲームをしたほうがもっと楽しくできるのかなと思いました。

（話し合いは続く）

1 司会の上田さんは「大木さんは、なぜ、そう思うのですか。」と発言することから、この話合いの中で、どのように話合いを進めようとしていると考えられますか。  
あてはまる番号を書きましょう。

- ① 話合いの意見を一つだけにしぼって、話合いを進めようとしている。
- ② 話合いの意見に対して評価をしながら、話合いを進めようとしている。
- ③ 出された意見の理由を明確にしながら、話合いを進めようとしている。
- ④ これから話し合う内容を想像しながら、話合いを進めようとしている。
- ⑤ 話合いの時間を短く区切りながら、話合いを進めようとしている。

2 司会の上田さんの発言AとBには、どんな言葉が入りますか。あてはまる番号をそれぞれ書きましょう。

- ① 私は、大木さんの意見に賛成です。
- ② 大木さんの意見について、何か意見はありませんか。
- ③ 竹下さんは、なぜ、そう思うのですか。
- ④ 大木さんは、竹下さんの意見についてどう思いますか。
- ⑤ 私は、竹下さんの意見に反対です。

A
B



# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

## 【情報を関係付けながら話し合う問題】

- 1 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

図書委員の木村さんたちは、読書集会で読み聞かせをする本を決めることにしました。次は、【各学年からの希望】をもとにした【話し合いの様子の一部】です。木村さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル6・7**

## 【各学年からの希望】

各学年からの希望を  
もとに、読書集会で読  
み聞かせをする本を決  
めよう。

- ・動物が出てくる本（二年）
- ・昔話の本（二年）
- ・おもしろい本（三・四年）
- ・みんながよく知っている本（五・六年）

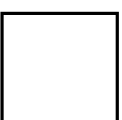
## 【話し合いの様子の一部】

木村 五年生が希望している、みんながよく知っ  
ている本なら、二年生が希望している、昔話  
の本にも当てはまるかもしれないよ。  
水上 昔話の本の中には、動物が出てくるものが  
多いよね。

山本 そうだね。動物が出てくる昔話の中には、  
おもしろい話のものもありそうだよ。  
大石 それなら、みんなの希望を生かせそうだ  
ね。わたしたちで、候補の本を挙げて、アン  
ケート調査を試みたらどうかかな。

木村 それはよい考えだね。  
（話し合いが続く）

- ① 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようとして話し合っている。
- ② 各学年からの希望を関係付けながら、希望に合う本を選ぼうと話している。
- ③ 各学年からの希望それぞれについて、関係する本を多く出そうとしている。
- ④ 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つけないで話し合っている。



【聞き方を工夫する問題】レベル7〜9

2 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

次は、代表委員会に出された【保健委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【石井さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていきますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【保健委員会からの提案の一部】

最近、給食後に歯みがきをしない人が増えたことが気になります。みなさんは、食べた後に歯みがきをしていますか。中には、みがき始めがおそい人やおしゃべりばかりしていて、みがいていない人もいます。

そこで保健委員会から、来月の歯ッピー週間において取り組むことを、次のように提案します。

それは、「ま・み・む・め・も」を合い言葉に取り組むことです。

ま・・・まいにち  
み・・・みがいて  
む・・・むしばゼロ  
め・・・めんどくさがらず  
も・・・もくもくと

これらを合い言葉に、虫歯ゼロを目指して、歯みがきを忘れずにしましょう。

【石井さんの心の中の声】

A 歯みがきの取組の問題点などをもとに、提案しているんだな。

B 六年生は「まいにち」と「めんどくさがらず」について、課題があると思うな。

C 低学年の子たちにも分かりやすい合い言葉だな。歯みがきタイムの前にも声をかけ合いやすいから、きっと効果が上がるだろうな。

- ① 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- ② 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。
- ③ 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- ④ 提案の内容と自分たちの様子とを関連付けながら聞いている。
- ⑤ どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。



A
B
C

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

【司会の役割や話し手の意図を捉える問題】 **レベル6・7**

代表委員会では、一年生を迎える会のプログラムについて、話し合いをしています。次の【プログラムの案】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【プログラムの案】

- 1 はじめのことば
- 2 校歌
- 3 ペンダントのプレゼント
- 4 ゲーム（じゃんけん列車）
- 5 児童代表のことば
- 6 歌（一年生になったら）
- 7 校長先生のお話
- 8 おわりのことば

【話し合いの一部】

大木 ペンダントのプレゼントよりも前に、全校でゲームをしたほうがよいと思います。

上田（司会） 大木さんは、なぜ、そう思うのですか。

大木 ゲームをすれば、楽しい雰囲気になると思うからです。

上田（司会） A

竹下 ぼくは、一年生には、まずきんちようをとってほしいので、ゲームより先に、ペンダントのプレゼントがあったほうがよいと思います。

上田（司会） B

大木 竹下さんの意見を聞いて、ぼくもペンダントのプレゼントがあつてから、ゲームをしたほうがもっと楽しくできるのかなと思いました。

（話し合いは続く）

1 司会の上田さんは「大木さんは、なぜ、そう思うのですか。」と発言することから、この話合いの中で、どのように話合いを進めようとしていると考えられますか。  
あてはまる番号を書きましよう。

- ① 話合いの意見を一つだけにしぼって、話合いを進めようとしている。
- ② 話合いの意見に対して評価をしながら、話合いを進めようとしている。
- ③ 出された意見の理由を明確にしながら、話合いを進めようとしている。
- ④ これから話し合う内容を想像しながら、話合いを進めようとしている。
- ⑤ 話合いの時間を短く区切りながら、話合いを進めようとしている。

司会の上田さんは、「なぜ」と聞くことで、理由を明らかにしながら、話合いを進めています。

③

2 司会の上田さんの発言AとBには、どんな言葉が入りますか。あてはまる番号をそれぞれ書きましよう。

- ① 私は、大木さんの意見に賛成です。
- ② 大木さんの意見について、何か意見はありませんか。
- ③ 竹下さんは、なぜ、そう思うのですか。
- ④ 大木さんは、竹下さんの意見についてどう思いますか。
- ⑤ 私は、竹下さんの意見に反対です。

AもBも、司会の発言です。司会の発言の前後に、だれが何を話しているか、内容を確認して考えましよう。

A
②
B
④



# 復習シート 第六学年 国語



組
番号
名前
<b>模範解答</b>

## 【情報に関係付けながら話し合う問題】

- 1 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

図書委員の木村さんたちは、読書集会で読み聞かせをする本を決めることにしました。次は、【各学年からの希望】をもとにした【話し合いの様子の一部】です。木村さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 **レベル6・7**

### 【各学年からの希望】

各学年からの希望を  
もとに、読書集会で読  
み聞かせをする本を決  
めよう。

- ・動物が出てくる本（一年）
- ・昔話の本（二年）
- ・おもしろい本（三・四年）
- ・みんながよく知っている本（五・六年）

### 【話し合いの様子の一部】

木村 五年生が希望している、みんながよく知っている本なら、二年生が希望している、昔話の本にも当てはまるかもしれないよ。

水上 昔話の本の中には、動物が出てくるものが多いよね。

山本 そうだね。動物が出てくる昔話の中には、おもしろい話のものもありそうだよ。

大石 それなら、みんなの希望を生かせそうだね。わたしたちで、候補の本を挙げて、アンケート調査を試みたらどうかかな。

木村 それはよい考えだね。  
～（話し合いが続く）～

- ① 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようと言っている。
- ② 各学年からの希望に関係付けながら、希望に合う本を選ぶようと話し合っている。
- ③ 各学年からの希望それぞれについて、関係する本を多く出そうとしている。
- ④ 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つけながら話し合っている。

みんながよく知っている本と昔話、昔話と動物など、各学年の希望を関係付けながら、読み聞かせをする本を決めています。

②

【聞き方を工夫する問題】レベル7〜9

2 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

次は、代表委員会に出された【保健委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【石井さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていきますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【保健委員会からの提案の一部】

最近、給食後に歯みがきをしない人が増えたことが気になります。みなさんは、食べた後に歯みがきをしていますか。中には、みがき始めがおそい人やおしゃべりばかりしていて、みがいていない人もいます。

そこで保健委員会から、来月の歯ッピー週間に  
おいて取り組むことを、次のように提案します。

それは、「**ま**・**み**・**む**・**め**・**も**」を合い言葉に取り組むことです。

**ま**・・・まいにち  
**み**・・・みがいて  
**む**・・・むしばゼロ  
**め**・・・めんどくさがらず  
**も**・・・もくもくと

これらを合い言葉に、虫歯ゼロを目指して、歯みがきを忘れずにしましょう。

【石井さんの心の中の声】

A 歯みがきの取組の問題点などをもとに、提案しているんだな。

B 六年生は「まいにち」と「めんどくさがらず」について、課題があると思うな。

C 低学年の子たちにも分かりやすい合い言葉だな。歯みがきタイムの前にも声をかけ合いやすいから、きつと効果が上がるだろうな。



- ① 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- ② 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。
- ③ 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- ④ 提案の内容と自分たちの様子とを関連付けながら聞いている。
- ⑤ どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。

【石井さんの心の中の声】にある  
——の部分などをヒントにし  
ながら考えましょう。

A	⑤	B	④	C	②
---	---	---	---	---	---





# 復習シート 第六学年 国語



組	
番号	
名前	

【自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考える問題】

① 図書委員長の山田さんは、四月から七月の活動を振り返り、それを「活動報告書」にまとめ、九月の委員会活動で報告することになりました。山田さんの活動報告書を読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【山田さんの活動報告】

### 図書委員会の活動報告(4月から7月)

**図書委員長 山田**

**ア**

1学期は、次のように活動した。

4月	図書室の使い方を放送・ポスターでお知らせをする。
5月	図書室での貸出しを始める。
6月	雨の日の休み時間に「紙しばい」を行う。
7月	1学期の反省と利用者数の集計をする。

**イ**

●図書室の使い方を全校へ知らせる(4月)

- ・放送グループ班とポスターグループ班に分かれて準備をした。
- ・ポスターを各クラスに配布後、昼の放送を行った。

●貸し出しの開始(5月)

- ・混んでしまうことを予想し、当番を増やした。
- ・スムーズに貸出しをすることができた。

●雨の日の休み時間に「紙芝居」(6月)

- ・梅雨で室内遊びが増えたため、低学年に向けて「紙しばい」を行った。
- ・中学年から、紙芝居が見たいという意見があった。

●反省会と利用者数の集計(7月)

- ・反省会を開いた。
- ・1学期の利用者数を集計した。
- ・高学年の利用が少ないことが課題とわかった。

**ウ**

- ・大体、計画にそって活動することができた。
- ・協力して活動できた。
- ・反省点は、当番を忘れてしまう人がいたこと。
- ・お互いに当番を忘れないように、表などを作って、確認をするとよい。

**エ**

- ・2学期は「秋の読書週間」の取組がある。
- ・高学年の利用者が増えるよう、工夫した取組を行う。

(1)

ア	……		ア	から	
イ	……		イ	には、	
ウ	……		ウ	小見出しが入ります。	
エ	……		エ	山田さんは、	

れにどのような小見出しをつけたでしょうか。①から⑤の中からそれぞれ選びましょう。**レベル6・7**

- ①活動をして考えたこと
  - ②各月の活動
  - ③今後の活動について
  - ④活動をしてよかったこと
  - ⑤活動内容

# 復習シート 第六学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題】

レベル 8・9

1

生活委員会の川村さんは、安全な生活について集会で発表することになりました。全校に伝えるときに、資料を一つだけ使用することにしました。あなたなら川村さんにどちらの資料をすすめますか。また、選んだ資料を使うことによって、どのような効果がありますか。あとの条件にしたがって考えを書きましょう。

## 【資料を使う前のスピーチ】

みなさんは、ろう下を走ったことがありますか。ろう下を走ることはいけないとわかっていても、つい走ってしまい、危ない目にあつたことのある人もいます。私は先日、授業に遅れそうだったので、あわててろう下を走ってしまいました。曲がり角を曲がったしゅん間、下級生とぶつかってしまいました。私は、けがをしなかったのですが、ぶつかった下級生は、転んでしまい、足にあざができてしまいました。私はその時はじめて、ろう下を走ることの危険性を実感しました。私は、生活委員会として、ろう下を走らないようにするための工夫が必要だと思いました。となりの学校では、ろう下を走らないための取組をしているそうです。私は、みんながろう下を走らない安全な学校にしていきたいです。

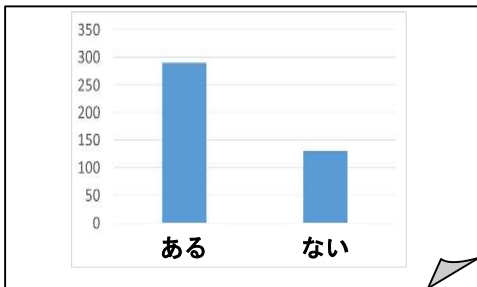
## 【資料①】 となりの学校のろう下を 走らないための工夫

- ・給食の放送で呼びかける
- ・校内にポスターをはる
- ・おたがいに注意をしよう

条件① 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。  
 条件② 一段落目には、資料①・資料②のうち、どちらの資料を使うのがよいと思うか、一つだけ書くこと。  
 条件③ 二段落目には、その資料を使用することによって、何がどのようによくなるか（効果）を、【資料を使う前のスピーチ】の内容に触れて書くこと。

・条件①②③に合っているか、一つ一つ確認しましょう。  
 ・「です」「ます」や「だ」「である」のように、文末表現をそろえましょう。  
 ・理由を書く時は、【資料を使う前のスピーチ】の足りないことに触れましょう。また、「理由は、だからです」「なぜなら、だからだ。」などの表現を使いましょう。

## 【資料②】 本校のろう下を走って、 人にぶつかったことがある人



【正答例】

私は、資料①を使う方がよいと思います。  
 なぜなら、資料①を使うことによって、となりの学校の工夫が具体的に分かるからです。となりの学校の工夫を参考にし、みんなが、自分の学校の工夫について考えるようになると思います。

ぼくは、資料②を使う方がよいと思う。  
 理由は、資料②を使うことによって、実際に学校でどれだけ多くの人が走っていて、危険な思いをしているのかわかるからだ。人数が多いことを全校が知れば、意識が変わるきっかけになると思う。

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考える問題】

1

図書委員長の山田さんは、四月から七月の活動を振り返り、それを「活動報告書」にまとめ、九月の委員会活動で報告することになりました。山田さんの活動報告書を読んで、あとの問いに答えましょう。

## 【山田さんの活動報告】

### 図書委員会の活動報告(4月から7月)

図書委員長 山田

ア

1学期は、次のように活動した。

4月	図書室の使い方を放送・ポスターでお知らせをする。
5月	図書室での貸出しを始める。
6月	雨の日の休み時間に「紙しばい」を行う。
7月	1学期の反省と利用者数の集計をする。

イ

●図書室の使い方を全校へ知らせる(4月)

- ・放送グループ班とポスターグループ班に分かれて準備をした。
- ・ポスターを各クラスに配布後、昼の放送を行った。

●貸し出しの開始(5月)

- ・混んでしまうことを予想し、当番を増やした。
- ・スムーズに貸出しをすることができた。

●雨の日の休み時間に「紙芝居」(6月)

- ・梅雨で室内遊びが増えたため、低学年に向けて「紙しばい」を行った。
- ・中学年から、紙芝居が見たいという意見があった。

●反省会と利用者数の集計(7月)

- ・反省会を開いた。
- ・1学期の利用者数を集計した。
- ・高学年の利用が少ないことが課題とわかった。

ウ

- ・大体、計画にそって活動することができた。
- ・協力して活動できた。
- ・反省点は、当番を忘れてしまう人がいたこと。
- ・お互いに当番を忘れないように、表などを作って、確認するとよい。

エ

- ・2学期は「秋の読書週間」の取組がある。
- ・高学年の利用者が増えるよう、工夫した取組を行う。

(1)

ア

イ

ウ

エ

これにどのような小見出しをつけたでしょうか。①から⑤の中からそれぞれ選びましょう。レベル6・7

には、小見出しが入りません。山田さんは、それぞれ

ア	……	②
イ	……	⑤
ウ	……	①
エ	……	③

- ! ①活動をして考えたこと
- ! ②各月の活動
- ! ③今後の活動について
- ! ④活動をしてよかったこと
- ! ⑤活動内容

小見出しと内容が合っているか、一つ一つ確かめましょう。

内容には、どのようなことが書かれているか、よく読んでみましょう。自分でも小見出しをつけて、新聞や報告書など書けるようにしましょう。

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

## 【情報を読み取る問題】

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

### 【資料】

段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

- 「時の記念日」はどんな日？
- 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
  - 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六十七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
  - 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
  - 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
  - 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

### （問い）

小野さんは、「なぜ、六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ、『時の記念日』を設定したのか」について、まとめています。

二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。

最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、

その番号を書きましょう。 **レベル5・6**

小野さん . . . . .

今村さん . . . . .

# 復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【情報を読み取る問題】

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

- 「時の記念日」はどんな日？
- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
  - 2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
  - 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
  - 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
  - 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

（問い） 小野さんは、「なぜ、六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ、『時の記念日』を設定したのか」について、まとめています。

二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル5・6

小野さんが読むとよい段落については、①なぜ ②六月十日 という言葉をヒントにして、探しましょう。

今村さんについては、①なぜ ②時の記念日の設定 という言葉をヒントにしましょう。

「設定した」という言葉は、別の言葉に言い換えられています。よく読んでみましょう。

小野さん . . . . .

**2**

今村さん . . . . .

**3**

# 復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組
番号
名前

【文脈に即し、適切な同音異義語を選択する問題】

- 1 次の文の \_\_\_\_\_ 線部に当てはまる漢字を、下の ( ) から一つ選んで、丸をつけましょう。 **レベル6・7**

- ① 有名な先生の コウエン を聞く。 (公演 ・ 公園 ・ 講演)
- ② 東北地方の キコウ は、冬が寒い。 (機構 ・ 気候 ・ 紀行)
- ③ 新聞を ハツコウ する。 (発行 ・ 発効 ・ 発光)
- ④ コウカな 食器を 割った。 (校歌 ・ 効果 ・ 高価)
- ⑤ イシ が強い人。 (意志 ・ 意思 ・ 医師)

【修飾語を選択する問題】

- 2 次の文中の \_\_\_\_\_ 線部を修正しよくしている言葉を、ア～エの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。 **レベル7～9**

- ① 赤い ア 小さい イ チューリップが ウ 花だんに エ 咲いた。 ①

- ② 間違えた ア 字を イ 消しゴムで ウ ていねいに エ 消す。 ②

- ③ お父さんが、 ア 北海道の イ おばあちゃんに ウ 電話を エ かけた。 ③

【慣用句・ことわざの一部を書く問題】

3 ( ) ( ) に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字

一字を、下の  に書きましょう。

レベル6・7

( )	( )	をはさむ
( )	( )	はわざわいのもと
開いた ( )	( )	がふさがらない
( )	( )	がすべる

当てはまる漢字

【語句が変化する複合語を読む問題】

4 次の言葉が組み合わさった複合語を  に、読み方を ( ) ( ) に書きましょう。

レベル3~5

例 帰る + 道 ↓ **帰り道** (かえりみち)

① 話す + 始める ↓	<input type="text"/>	( )
② 力 + 強い ↓	<input type="text"/>	( )
③ 雨 + 戸 ↓	<input type="text"/>	( )

【文の組み立てを理解し、推敲する問題】

レベル7~9

5 「 ( ) 」の中の意味になるように、文に読点 (、) を一つ打ちましょう。

例 「わたしが必死な場合」	わたしは必死に、にげるねこを追いかけた。
「ねこが必死な場合」	わたしは、必死ににげるねこを追いかけた。

「うれしそうにしているのが父の場合」

父が うれしそうに 笑う 妹を ながめる。

「うれしそうにしているのが妹の場合」

父が うれしそうに 笑う 妹を ながめる。



# 復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組
番号
名前
模範解答

【文脈に即し、適切な同音異義語を選択する問題】

- 1 次の方の \_\_\_\_\_ 線部に当てはまる漢字を、下の ( ) \_\_\_\_\_ から一つ選んで、丸をつけましよう。 **レベル6・7**

- ① 有名な先生の コウエン を聞く。 (公演・公園・**講演**)
- ② 東北地方の キコウ は、冬が寒い。 (機構・**気候**・紀行)
- ③ 新聞を ハツコウ する。 (**発行**・発効・発光)
- ④ コウカな 食器を 割った。 (校歌・効果・**高価**)
- ⑤ イシ が強い人。 (**意志**・意思・医師)

言葉の意味を辞書で調べ、確認しましよう。 【講演】大勢の人に、ある題で話をするここと。  
 【気候】その地域を特ちようづける大気の状態。 【発行】印刷をして、世の中に出すここと。  
 【高価】値段や価値が高いここと。 【意志】物事をなしとげようとする積極的な気持ち。

【修飾語を選択する問題】

- 2 次の文中の \_\_\_\_\_ 線部を修しよくしている言葉を、ア～エの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。 **レベル7～9**

- ① 赤い 小さい チューリップが 花だんに 咲いた。 (ア イ ウ エ) ① **エ**

- ② 間違えた 字を 消しゴムで ていねいに 消す。 (ア イ ウ エ) ② **ア**

- ③ お父さんが、 北海道の おばあちゃんに 電話を かけた。 (ア イ ウ エ) ③ **イ**

修飾語は、「いつ」「どこ」「何を」「だれに」「どこ(だれ・何)の」「どんな」「どのくらい」「どのように」など、文中の他の言葉の意味をくわしくする言葉です。どの言葉の意味をくわしくしているか、考えましよう。

【慣用句・ことわざの一部を書く問題】

- 3 ( ) ( ) に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字一字を、下の  に書きましょう。 **レベル6・7**

( ) をはさむ  
 ( ) はわざわいのもと  
 開いた ( ) がふさがらない  
 ( ) がすべる

当てはまる漢字

**口**

【他の「口」がつく慣用句・ことわざ】  
 口が重い・口が軽い・口を開く・口をにごす  
 大きな口をきく・にくまれ口をたたく  
 口をそろえる・口を閉ざす・口ほどにもない  
 同じ言葉が入った慣用句は他にもあります。  
 調べてみましょう。

【語句が変化する複合語を読む問題】

- 4 次の言葉が組み合わさった複合語を  に、読み方を ( ) ( ) に書きましょう。 **レベル3〜5**

例 帰る + 道 ↓ **帰り道** (かえりみち)

① 話す + 始める ↓	<b>話し始める</b>	(はなしはじめる)
② 力 + 強い ↓	<b>力強い</b>	(ちからづよい)
③ 雨 + 戸 ↓	<b>雨戸</b>	(あまど)

複合語になる時に、元の言葉と発音や音の高さが変わることがあります。

【文の組み立てを理解し、推敲する問題】

**レベル7〜9**

- 5 「」の中の意味になるように、文に読点(、)を一つ打ちましょう。

例 「わたしが必死な場合」 わたしは必死に、にげるねこを追いかけた。  
 「ねこが必死な場合」 わたしは、必死ににげるねこを追いかけた。

「うれしそうにしているのが父の場合」

父が うれしそうに、笑う 妹を ながめる。

「うれしそうにしているのが妹の場合」

父が、うれしそうに 笑う 妹を ながめる。

「うれしそう」なのはだれでしょう。  
 意味がはっきりと分かる場所に、読点  
 を打ちましょう。